

シラバス一覧

livecampus

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

戻る

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-04 教育と社会	20130586018502	●教育と社会 Ⅰ(教育原理 論)	和	E		関谷 融	1年,2年,3年,4年	後期	月 1	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-04 教育と社会	20130586018902	●教育と社会 Ⅰ(教育心 理)	和	E		原田 純 治	1年,2年,3年,4年	後期	火 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-04 教育と社会	20130586019302	●教育と社会 Ⅰ(教育行 政・制度論)	和	E		江頭 明 文	1年,2年,3年,4年	後期	月 2	～

戻る



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-04 教育と社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586018502	科目番号	05860185
授業科目名	●教育と社会Ⅰ(教育原理論)		
編集担当教員	関谷 融		
授業担当教員名(科目責任者)	関谷 融		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	関谷 融		
科目分類	全学モジュールⅠ科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	sekiya@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-813-5170		
担当教員オフィスアワー	上記電話番号にて		
授業のねらい	教育（学）の根本概念、及びその振る舞いを理解すること。		
授業方法（学習指導法）	講義方式。		
授業到達目標	教育（学）の根本概念の有効範囲（効用と限界）を説明することができる。		
授業内容	教育（学）のいくつかの根本概念を取り上げ、それらによって何が見えるのか、また何が見えなくなるのかについて講義する。取り上げる概念は、授業の進度をみながら追加したり削除したりする場合がある。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション / 「子ども」という根本概念で何が見える（ようになった）か その1	
	2	「子ども」という根本概念で何が見える（ようになった）か その2	
	3	「子ども」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その1	
	4	「子ども」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その2	
	5	「成長」という根本概念で何が見える（ようになった）か その1	
	6	「成長」という根本概念で何が見える（ようになった）か その2	
	7	「成長」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その1	
	8	「成長」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その2	
	9	「理解」という根本概念で何が見える（ようになった）か その1	
	10	「理解」という根本概念で何が見える（ようになった）か その2	
	11	「理解」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その1	
	12	「理解」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その2	

	13	「能力」という根本概念で何が見える（ようになった）か その1
	14	「能力」という根本概念で何が見える（ようになった）か その2
	15	「能力」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その1
	16	「能力」という根本概念で何が見えない（なくなった）か その2 および 定期試験
キーワード	パラダイム エートス 存在論	
教科書・教材・参考書	授業時に提示（可能ならば長大の学内ファイルサーバーにアップロードするので、それを入手する）。	
成績評価の方法・基準等	定期試験（定期試験が実施できない場合はレポート）100%。	
受講要件（履修条件）	とくになし	
本科目の位置づけ	全学モジュール（教養科目）	
学習・教育目標	対象そのものを見つめる力を研ぐことを目標とします。ただし、対象には見つめている自分も含まれます。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	配布物を熟読しておいてください。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-04 教育と社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586018902	科目番号	05860189
授業科目名	●教育と社会Ⅰ(教育心理)		
編集担当教員	原田 純治		
授業担当教員名(科目責任者)	原田 純治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	原田 純治		
科目分類	全学モジュールⅠ科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]42講義室		
対象学生（クラス等）	経済学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館 2 階（222室）		
担当教員TEL	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー	メールにて問い合わせること。		
授業のねらい	将来教職に就くものにとって、各教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかにあたり児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等について基礎・基本となる教育心理学的な知識や基本的な教育的態度の習得は必要とされる。		
授業方法（学習指導法）	講義形式。		
授業到達目標	教育的諸事象を心理学の視点から捉え考察することができる。 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	教育心理学の役割・性質	
	2	幼児・児童生徒の発達 ①乳幼児期、児童期	
	3	幼児・児童生徒の発達 ②青年期	
	4	学習 ①学習の理論とそれに基づく指導法	
	5	学習 ②学習の動機づけ	
	6	パーソナリティ ①理論的考察	
	7	パーソナリティ ②パーソナリティと適応	
		パーソナリティ	

	8	③測定法
	9	教育評価
	10	教師の心理
	11	学級集団の心理
	12	学級集団の指導
	13	教育臨床
	14	障害児の心理と指導
	15	学校教育心理学の研究方法
	16	試験
キーワード	発達、学習、パーソナリティ（人格と適応）、教育評価	
教科書・教材・参考書	特に用いない。	
成績評価の方法・基準等	1. 授業への貢献度(10%) 質問、講義中の質問への回答など 2. 定期試験(90%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-04 教育と社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586019302	科目番号	05860193
授業科目名	●教育と社会Ⅰ(教育行政・制度論)		
編集担当教員	江頭 明文		
授業担当教員名(科目責任者)	江頭 明文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江頭 明文		
科目分類	全学モジュールⅠ科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス	a-egaega@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合教育研究棟 206号室		
担当教員TEL	095-819-2089		
担当教員オフィスアワー	随時（要メール連絡）		
授業のねらい	教育行政組織や教育法規等の講義を通して、公教育の組織原理と理念等に関する知識を習得するとともに、身近な事例をもとに、我が国の教育行政・制度に対する理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	教育行政、教育制度、教育法規等についての講義を踏まえ、具体事例に関する法規演習やグループディスカッション等を通して、教育行政・制度についての自らの考えを構成し、その成果を提出する。		
授業到達目標	教育行政、教育制度、教育法規等に関する知見を踏まえ、公教育論を構築することを目標とする。		
授業内容	教育にかかわる今日的な話題を取り上げながら討論等を行い、主体的な学習参加を促すとともに、教育制度、教育行政組織等についての理解を深めるために下記手順で学習を進める。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方等）	
	2	公教育の理念と組織 ※日本国憲法 教育基本法※	
	3	教育行政組織の概要 1（地方教育行政組織～教育委員会制度～） ※地方教育行政の組織及び運営に関する法律※	
	4	教育行政組織の概要 2（国一都道府県一市町村の関係について） ※地方教育行政の組織及び運営に関する法律※	
	5	教育行政組織の概要 1（中央教育行政組織について）	
	6	教育行政制度の概要 2（学校教育について） ※学校教育法 学習指導要領※	
	7	教育行政制度の概要 3（教育課程と教科書行政について） ※義務教育諸学校における教科用図書の無償措置に関する法律※	

	8	教育行政制度の概要 4（教職員の身分について） ※教育公務員特例法 地方公務員法※
	9	教育行政制度の概要 5（教育財政について）
	10	教育行政制度の概要 6（生涯学習体系について） ※社会教育法 生涯学習振興法等※
	11	討論 1 教育行政組織を巡る今日的话题について
	12	討論 2 教育制度を巡る今日的话题について
	13	新たな教育改革の内容と方向性について
	14	討論 3 新たな教育改革の内容と方向性について
	15	教育行政・制度の学びから見えてきたもの
	16	試験
キーワード	公教育の組織原理と理念	
教科書・教材・参考書	基本的には資料を配布します。	
成績評価の方法・基準等	演習成果資料（30％）、討論の参画・貢献度（30％）、16回目に実施する試験(40％）で評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	教職科目	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		

